

## 看護師特定行為研修の内容

区分別科目

### 1 病棟基本コース（3区分5行為） 合計；36時間

特定行為区分	特定行為	病棟基本コース (3区分5行為)	時間数（講義 e-learning + 演習）
栄養に係るカテーテル管理（中心 静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	7時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	○	
栄養及び水分管理に係る薬剤 投与 関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	16時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	


### 2 オプション：ドレーン管理（1区分1行為） 合計；8時間

特定行為区分	特定行為	オプション ドレーン (1区分1行為)	時間数（講義 e-learning+演習）
腹腔ドレーン管理	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿 刺針の抜針を含む）	○	8時間

※病棟基本コースまたは集中治療+関医コースのみ

3 集中治療パッケージ+関医コース (7 区分 13 行為) 合計 ; 96 時間

特定行為区分	特定行為	集中治療コース (7区分13行為)	時間数 (講義 e-learning+演習)
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブ の位置の調整	○	9時間 (OSCE)
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	23時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	/	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静 薬の投与量の調整	○	
	人工呼吸器からの離脱	○	
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	○	8時間
栄養に係るカテーテル管理 (中 心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	7時間
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	○	
栄養及び水分管理に係る薬剤投 与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	16時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	20時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はク ロールの投与量の調整	○	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	○	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与 量の調整	/	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	/	

 …厚生労働省が定める「集中治療領域パッケージ」研修の行為

4 術中麻酔管理領域パッケージ（8行為） 合計：70 時間

特定行為区分	特定行為	術中麻酔管理領域パッケージ（8行為）	時間数（講義 e-learning + 演習）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	9時間 (OSCE)
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	17時間
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
	人工呼吸器からの離脱	○	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	13時間 (OSCE)
	橈骨動脈ラインの確保	○	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		11時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	8時間
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整		12時間
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		

5 在宅基本コース（2区分3行為） 合計：32 時間

特定行為区分	特定行為	在宅基本コース（2区分3行為）	時間数（講義 e-learning+演習）
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	16時間
	脱水症状に対する輸液による補正	○	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	○	16時間

※対象：訪問看護師のみ

## 特定行為研修の流れ



### ● 共通科目



### ● 区分別科目

